

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 11月 30日

事業所名

アクアキッズみさと団地教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に合わせた環境設定を適宜行っている	
	②	職員の配置数は適切である	○		保育士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・児童指導員を必要充分数配置している	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		生活動作自立や習慣の獲得に向けて、絵や文字、色などを使い、本人にわかりやすい環境設定をしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日掃除、洗濯、室内消毒を実施している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼時の打ち合わせや振り返り、職員会議を通じて共通認識を高める他、支援の計画、評価、反省を随時行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いた意見を職員会議の中で十分に検討し、保護者の皆様の想いを元に子どもの発達に寄与できるように、支援に反映させていきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内に掲示するほか、ホームページで公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在第三者評価は行っていない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部、外部共に広く研修の機会を確保している	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されたアセスメントツールの導入を検討している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに基づいて、子どもの発達を評価し、適切な支援が行えるよう計画を作成している	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に基づいて生活の中での困り感に対し、日々の支援を行っている。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子どもの発達に合わせて、職員間で活動内容を検討し、支援を行っている		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		発達段階、季節、時勢等を盛り込んで、子ども達が興味を持って取り組めるよう活動を組んでいる		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団活動と個別活動のメリット・デメリットを理解し、子どもが興味をもって参加でき、効果的に療育の内容が見につくように計画に盛り込んでいる。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にて当日の活動を確認し、活動内容や準備の担当等、共通理解を持って支援が効果的に実施されるよう心がけている		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日行った支援について、個別支援記録を付け、職員間でいつでも子どもの状況を確認できるようにしている		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		上記の支援記録のほか、連絡帳にも日々の記録を取り、発達の評価と支援の見直しを行っている。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に保護者との面談を実施し、ニーズや課題の見直しを行っている		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が参加している。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		子育て支援部会が発足した児発ネットに参加し情報共有をしている。	
		㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	
		㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	
		㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼稚園後、保育園後の子どもの利用に広く対応し、送迎時などに情報共有を行うことで支援のすり合わせや課題の共有を行い、多角的に子どもを支援できる関係強化を行っている	
		㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
		㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
		㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		保育所や幼稚園通園後のお子さんの利用を広く受け入れているが、一緒に活動する機会はない。
		㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			市で運営する児発ネットに参加している。
		㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時に施設の様子や行った支援の内容、発達の状況などについて報告を行っている

保護者への説明責任等非常時等の対応	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		市の発達支援施設がペアレント・トレーニングを担っているため実施していない
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書を用いて説明をしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している。完成した支援計画は保護者に確認していただき同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの相談には内容にかかわらず随時対応を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		利用されているお子さんが同じ保育園・幼稚園が幼稚園に通われているなど、個人情報を上でクリアすべき課題が難しいため行っていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		事業所携帯を用いて随時相談に対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	会報等は発信していないが日々の送迎時や SNS を通じて綿密な連絡体制を取っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は鍵付きのキャビネットで保管している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		わかりやすい言葉や、視覚情報を用いて意思の疎通、情報伝達を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民との関係は良好に保っているが、イベント等への招待などは行っていない
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルの整備や必要な災害・防災訓練を実施し、連絡帳を通じて保護者へと周知している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用面接時、引受時等に既往や服薬の聞き取りを実施している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		該当者がおらず実施していないが完全除去対応としている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例は何時でも見られるようにまとめてある	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内部研修を実施している。外部研修についても導入検討中である。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		子どもの状況により、身体保護・精神的安定を目的として、身体拘束方法について支援計画に記載、説明を行っている	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5 年 11 月 30 日

事業所名 アクアキッズみさと団地教室

保護者等数(児童数) 23人 回収数 18人 割合 78%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1			・教室も広く動きやすい。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1			・子ども用のトイレがあるところは少なかったので良いと思った。 ・子ども用トイレがあって使いやすいと思います。 ・トイレが子ども用なので使いやすいと自立をサポートできる設計になっている。	これから子どもが日常生活動作を主体的に習得できるように環境を設定していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18					
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18				・夏のプールや、公園、児童館とありがたいです。	季節や場所によって体験できることは様々変わるので、いろんな経験ができるように活動を設定していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	4	7	・実際難しそうですが、交流があってもいいと思います。	ご意見通り調整等難しいこともありますが、幼稚園や保育園との交流について検討してまいります。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	5		3		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に	18				・面談の際、相談に乗っていただき、アドバイスを頂きありがたい。	いつでも気軽に相談していただけるように今

		関する助言等の支援が行われているか							後も SNS を通じて連絡が取りあえる体制を続けていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	8	4	<ul style="list-style-type: none"> • どんなお友だちがいるか、ご両親に会うことも全く無いので、産官などあったらいいと思います。 • あってもいいとは思いますが、なくても問題ないと思っている。今のところ必要性を感じてはいない。 • 以前はあったようですが、また開催して欲しい。 	父母会につきましては難しい課題もありますが、実施に向けて検討を進めてまいります。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18						
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	5	3	2	<ul style="list-style-type: none"> • お手紙でもホームページでも、たまに普段の活動の様子が見れたらうれしいです。 	SNS を通じて行事などの報告は致しておりますが、普段の子どもの成長する姿をフィードバックする方法を考えてまいります。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16			2			
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	2		6			
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			7			
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18				<ul style="list-style-type: none"> • 毎日楽しみにしています • とても楽しく通っています。 	ありがとうございます！これからも楽しんでか酔える教室づくりを続けてまいります。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	18				<ul style="list-style-type: none"> • 家ではできないことをしてくれてたくさん学べていると思う。 • おかげさまでトイレが進みました！ありがとうございます。 • 伝えたことがスタッフ間で共有されていないことが度々ありました。 • 専門的な視点から子供をよく見ていただいている。 	伝達事項がうまく伝わっていないことがありご迷惑をおかけいたしました。職員間でより密に情報の共有を行ってまいります。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。